

愛媛県文化協会賞 壁新聞部門
 「十河信二 新幹線の父 1884-1981」
 新居浜市立惣開小学校 第4学年 小坂 杏奈

生誕
140年

十河信二 新幹線の父 1884-1981

新居浜市立
惣開小 四年
小坂 杏奈

きっかけ

四国の新幹線実現のため
俳句に応じたり「NHK朝ドラ」のし、名を
したり、十河信二という人は、いたい
どんな人だろうと思、たから、

健康のひけつ?

13さいにな、た信二は、旧制西条中学に入学。
18さいで卒業するまでの5年間、家から学校まで
10kmの道のりを、かた道2時間半かけて
毎日通いました。
足元は、す足に手作りのぞうり。
徒歩通学の時間を使、て、暗記のふく習をしたり
この通学が、信二の「健康」をつく、たとも!!

広軌と狭軌

レールの幅のことを軌間といいます。
すべてのレールが同じ幅というわけではなく、軌間は
大きく数種類に分けられます。
日本では、明治5年に新橋-横浜間にはじめて
鉄道がひかれました。
その時は、狭軌1067mmが使われました。
後藤新平は、国鉄時からすでに世界的な標準といわれ
標準軌1435mmにしよう、とて、案していたのです。



新幹線のレールは、標準軌
で、大量の運搬には
広軌(この)が、必要だよ。

71さい 国鉄総裁?

昭和30年、瀬戸内海で大変な事故が起きました。
さ、りの中で、国鉄高速列車「東武丸」が、「第三号丸」と
し、う突、百数十人が死亡したのです。
戦後10年、国鉄では、次々と事故が起きていました。
総裁の役目とひき受けの人が、たれも、いません。
信二は、血圧が高、入院もしていましたが、今、こ、国鉄の
信用回復のとき、苦しい役を引、受け、ます。
世間の人は、みんな「あ、とお、とろ、き、ま、た、。
71さいです!!
当時のマスコミは、国鉄は、く、物館から、古い、機関車を
持ち出した、と、から、か、い、ま、し、た、。
春雷号と俳句
十河信二記念館には、C57型蒸機機関車が、て、ん、じ、さ、れ、て
います、別名「春雷号」と、よ、ば、れ、て、い、ま、す、。
春雷号というのは、春のかみなり、こと、で、もの、す、ご、い、音、で、鳴、り
ひび、き、ま、す、が、め、た、に、落、ち、る、こ、と、は、な、く、地、上、に、は、害、を
あ、た、え、ま、せ、ん、信、二、も、か、み、り、親、父、と、言、わ、れ、れ、部、下、を
よ、く、し、か、り、ま、し、た、し、か、し、話、が、わ、か、ら、ん、と、か、ら、と、し、て、い、て、
「春雷」とあ、た、な、が、つ、け、ら、れ、て、い、た、そ、う、で、す、。
77さいから、だ、れ、に、も、迷、わ、く、も、か、け、な、い、し、味、と、し、て、
始、め、た、俳、句、。
俳、句、は、「春雷子、
あ、だ、な、お、気、に、入、り、だ、た、ん、で、す、ね、!

春雷号と俳句

春雷号と俳句
十河信二記念館には、C57型蒸機機関車がてんじされて
います、別名「春雷号」とよばれています。
春雷号というのは、春のかみなりこと、で、もの、す、ご、い、音、で、鳴、り
ひび、き、ま、す、が、め、た、に、落、ち、る、こ、と、は、な、く、地、上、に、は、害、を
あ、た、え、ま、せ、ん、信、二、も、か、み、り、親、父、と、言、わ、れ、れ、部、下、を
よ、く、し、か、り、ま、し、た、し、か、し、話、が、わ、か、ら、ん、と、か、ら、と、し、て、い、て、
「春雷」とあ、た、な、が、つ、け、ら、れ、て、い、た、そ、う、で、す、。
77さいから、だ、れ、に、も、迷、わ、く、も、か、け、な、い、し、味、と、し、て、
始、め、た、俳、句、。
俳、句、は、「春雷子、
あ、だ、な、お、気、に、入、り、だ、た、ん、で、す、ね、!

感想

これまで、十河信二記念館へ行ったことはありましたが、実際とんな人、た、た、の、か、
何、を、し、た、な、の、か、よ、く、わ、か、り、て、い、ま、せ、ん、で、し、た、。
今、回、本、を、何、度、も、読、ん、だ、り、わ、か、ら、な、い、と、こ、ろ、を、調、べ、ま、し、た、む、す、か、い、い、と、こ、ろ、も、多、か、た、
で、す、が、少、し、す、つ、勉強、し、な、ら、私、(小、学、生、)に、も、わ、か、り、や、さ、い、よ、う、に、工、夫、し、ま、し、た、。
NHK朝ドラにな、た、ら、見、ん、の、が、楽、し、み、で、す、。

プロフィール

明治 17年 新居郡中菰上原
(現在の新居浜中村)に
生まれる
父は 鍋作母はソウ

明治 35年 愛媛県立西条中学校
卒業

明治 38年 東京帝大法学部入学
(現在の東京大学)
キクと出会い明治40年結婚
(信二23さいキク19さい)

明治 42年 東京帝国大学卒業
後藤新平と出会い、鉄道院
に入る

大正 13年 鉄道省経理局長になる。

昭和 5年 南满州鉄道株式会社 理事
(中国にわたる)

昭和 14年 社団法人帝国鉄道協会 理事
(日本へ戻る)

昭和 20年 西条市長になる(6年 辞任)

昭和 30年 日本国有鉄道総裁になる
(二期)



昭和 38年 日本交通協会 会長
愛媛県民賞を受ける

昭和 39年 10月 東海道新幹線
(東京-大阪間)開通
勲一等瑞宝章を受ける

昭和 44年 西条市名誉市民の称号
(第一号)

昭和 56年 77さいでなくなる

信二の兄弟

兄・虎之助、姉・ムラ、妹・ジグ。
信二の家は農家だ、た、兄も東京の学校へ行、て、い、た、が、
「農家の子は、農業をやれ、と父に言、わ、れ、学、門、を、あ、き、ら、め、た、。
父は、信二にも、同、じ、よ、う、に、農、業、を、さ、せ、る、つ、も、り、て、い、た、が、兄、が
た、た、み、に、頭、を、す、り、つ、け、て、父、に、た、の、み、西、条、中、学、か、ら、上、来、と、な、る、。

弁当を泣かす?

弁当を泣かす、というの、は、昼、食、の、時、間、が、来、て、い、ない、の、に、
先、生、に、内、し、て、お、弁、当、を、食、べ、て、し、ま、う、こ、と、で、す、。
信二は、小、学、校、の、ま、じ、の、神、社、で、弁、当、を、食、べ、て、帰、る、こ、と、も、あ、た、!!

キクのプロフィール

明治21年、北海道はこ館市に生まれる。
明治38年、東京日本女学校入学。
卒業後、東京音楽学校(現在の東京芸術大学)へ入学。
信二と出会い、19さいの時学生結婚する。
その後生涯にわたり、信二をささえる。

市長時代

西条市は、四国山みく、と瀬戸内海との間に
横たわ、る、せ、ま、い、平、地、で、す、。
四、国、山、み、く、の、あ、ち、こ、ち、ら、水、が、流、れ、出、し
よ、く、川、が、氾、ら、ん、し、て、い、ま、し、た、。
そ、こ、で、調、査、し、て、川、口、の、土、砂、を、掘、り、取、り、の、ぞ、ま、し、た、。
さ、ら、に、信、二、は、松、山、市、か、ら、西、条、市、方、面、へ、の、国、道、改、修、が、
一、時、止、止、さ、れ、て、い、る、の、に、目、を、つ、け、市、の、青、年、団、を、動、員、し、て
土、砂、を、道、路、し、き、地、ま、て、は、ん、出、さ、せ、ま、す、。
こ、れ、に、よ、つ、て、川、の、氾、ら、ん、は、防、止、さ、れ、道、路、の、改、修、が、進、み
川、が、さ、れ、い、な、り、ま、し、た、。

キクとの別れ

昭和31年キクがたおれ、2年間と病生活が続きました。
信二は、食、事、を、作、り、キ、ク、の、世、話を、し、
ね、る、時、は、自、分、の、う、て、キ、ク、の、う、て、赤、い、ひ、も、て、結、ひ、
「何、か、あ、れ、ば、ひ、は、り、な、い、さ、い、」と、言、て、お、て、い、た、こ、と、も、
昭和33年、キクが他界、71さいで、い、た、。

有法子(ユフーズ)
信二の愛子の銘です。
中国にいたころ、中国人から学んだ言葉で「なせば成る」
かん、単、に、い、う、と、や、ろ、う、と、思、え、ば、出、来、な、い、こ、と、は、な、い、と
い、う、こ、と、で、す、。
信二は、新、幹、線、建、設、の、反、対、に、も、負、け、ず、
「こ、れ、か、ら、の、日、本、に、は、新、幹、線、が、必、要、だ、し、う、来、必、ず、国、民、の
た、め、に、な、る、と、ね、ば、り、強、く、新、幹、線、計、画、を、進、め、ま、し、た、。
夢、の、超、特、急、
昭和39年、東、海、道、新、幹、線、が、開、通、し、ま、し、た、。
明治42年、恩、師、後、藤、新、平、の、教、え、を、受、け、て、か、ら、
50年、あ、ま、り、の、月、日、が、流、れ、て、い、ま、し、た、。
東京、オ、リ、ン、ピ、ッ、ク、開、さ、い、に、合、わ、せ、昭和39年、10月、1日、
東、海、道、新、幹、線、が、開、業、し、ま、し、た、。
し、か、し、テ、ー、カ、ト、に、信、二、の、妻、は、あ、り、ま、せ、ん、で、し、た、。
巨、額、に、な、た、建、設、用、の、費、任、を、り、国、鉄、を、去、り、ま、し、た、。

有法子(ユフーズ)
信二の愛子の銘です。
中国にいたころ、中国人から学んだ言葉で「なせば成る」
かん、単、に、い、う、と、や、ろ、う、と、思、え、ば、出、来、な、い、こ、と、は、な、い、と
い、う、こ、と、で、す、。
信二は、新、幹、線、建、設、の、反、対、に、も、負、け、ず、
「こ、れ、か、ら、の、日、本、に、は、新、幹、線、が、必、要、だ、し、う、来、必、ず、国、民、の
た、め、に、な、る、と、ね、ば、り、強、く、新、幹、線、計、画、を、進、め、ま、し、た、。
夢、の、超、特、急、
昭和39年、東、海、道、新、幹、線、が、開、通、し、ま、し、た、。
明治42年、恩、師、後、藤、新、平、の、教、え、を、受、け、て、か、ら、
50年、あ、ま、り、の、月、日、が、流、れ、て、い、ま、し、た、。
東京、オ、リ、ン、ピ、ッ、ク、開、さ、い、に、合、わ、せ、昭和39年、10月、1日、
東、海、道、新、幹、線、が、開、業、し、ま、し、た、。
し、か、し、テ、ー、カ、ト、に、信、二、の、妻、は、あ、り、ま、せ、ん、で、し、た、。
巨、額、に、な、た、建、設、用、の、費、任、を、り、国、鉄、を、去、り、ま、し、た、。

参考文献・場所

- 十河信二(愛媛こどものための伝記)
- 十河信二物語
- 十河信二博覧会
- 十河信二記念館 四国鉄道文化館